

自己評価シート

三田つつしが丘認定こども園

1、園の教育目標

当学園では教育理念として、『一人ひとりを見つめる保育の実現』『主体的に生きる力を育む保育の実現』『仲良しの心・思いやりの心を育てる』を掲げています。また教育目標として、本園でめざす幼児像は次の4項目になります。

- 1、丈夫な子ども
- 2、素直な子ども
- 3、進んで取り組む子ども
- 4、心豊かな子ども

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教職員が自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目 | 取組状況 |
|--|---|
| 幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。 | 自園における教育課程の編成に参考になるよう、外部説明会や研修会に園長等が出席している。 |
| 教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。 | 毎年指導計画に加筆、訂正を行い、子どもの実態に即した内容にするように努めている。 |
| 子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。 | 教職員間の連携を十分に図り、子どもの実態を把握し、保育の在り方を考え、教諭は日々の記録を参考にして、週案及び日案の作成に反映させるようにしている。 |
| 学期ごとに各クラスの成果と課題を報告する。 | 各クラスで月や週の目標を定め、毎学期ごとに達成状況を報告し合うようにしている。その結果を翌期に反映させていくよう努めている。 |
| 子どもの良さを認めて評価しようとしている。 | 一人一人の子どものよさを認め、教諭が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。 |
| あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。 | 自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。 |
| 規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。 | 登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。 |
| 教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。 | 年度の始まりには学園全体研修を行い、夏期及び冬期においても、全体で研修を行いました。 |
| 各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。 | 各種研修会や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、教職員間において提供し、共有化を図るようにしている。 |

| | |
|---|---|
| 園だよりや合同研修会をととして幼稚園の情報を発信していく。 | 園の教育方針や取組を情報発信するように園だよりに記載し、積極的に取り組んでいく。 |
| 教育目標や短期経営目標と連鎖した評価項目を作成し、目標・実行・評価・改善のサイクルを確立する。 | 環境のマンネリ化、工夫、計画性の部分で反省が残るので、教育的意図が伝わるような計画的意図環境を創り、保育の充実を図る。 |

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 理 由 |
|---|
| <p>教職員一人一人が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。</p> <p>これからもミーティング、学園研修等で格差のない保育に努めていきたい。</p> |

5、今後取り組むべき課題

| 課 題 | 具体的な取り組み方法 |
|-----------|--|
| 情報公開の方法 | 現在ホームページや園だより、参観日などを通して保護者への通知・案内には取り組んでいるが、情報発信していく内容をより詳しく出来るよう検討していく。 |
| 自己点検、自己評価 | 最低限こうしてほしいといった基本の項目を点検課題として挙げているので、各教職員においてはさらに課題を上げるようにして全職員が即座に生かせる完成、保育技術を高め、本園としての方針に向かって保育に努めている。 また、当年度は2回であった教職員の自己評価を次年度も2回行うようにし、よりの確に現状を把握し、保育に努めていきたい。 |
| 指導計画の編成 | 指導計画を作成する際に、園を取り巻く環境や子供の実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。 |